

一般質問 ここが聞きたい!! 2名が登壇

投票率の下降を食い止め、高齢者にも優しい投票所をめざす。

今 元 直 寛 議員

問 本町の投票率は。

答 若年層以外は国政、地方選挙を問わず投票率は高い。若年層の選挙離れを食い止める方策が課題である。

問 土足で直接入れない、車椅子で入るためのスロープがないなどお年寄りや身体の不自由な方々には不便を強いている投票所が多く存在している。

答 投票所の数は県下でも有数の多さである。又、スロープ、手すり等の設置で投票環境整備を図ってきている。さらに地元からの要望があれば設置していきたい。なお、「期日前投票所」は土足で入れるし、バリアフリーに

なっているのでお年寄りや身体の不自由な方は是非こちらの利用をお願いしたい。

問 投票所までの足（送迎バス）の確保は考えていないのか。

答 利便性を考え、より身近な所に投票所を設置している。他の自治体では送迎バスを運行している所もあるが、本町では今のところ考えていない。



原発の安全神話再来ストップ

広 田 清 晴 議員

問 原発廃止の願いは民主党政権下消極的目標とはいえ「2030年代廃止する」との目標設定を掲げた。しかし自民党安部政権が誕生後、原発廃止問題は「0ベースで見直す」とし、安全安心を願い原発廃止を願う多くの国民に危惧、失望を与えた。町長は原発建設・再稼働反対の立場が大事。

答 議会決議で示された「上関原発は安全性が確認されなければならない。既存の原発再稼働についても総点検を行う」との明記があり、安心安全の町づくりを目指す私の立場は一緒と考えている。

問 福島原発の事故原因が明らかでない中、国の安全基準を作ることが過去の「国の安全

だと言ったから安全」との「安全神話」の繰り返しではないか。

答 安全基準に想定外があってはならないし、福島第一原発事故の原因究明がされた上で安全性がしっかりされるべきだと考えている。

問 やすらぎ苑（老人保健施設）の30床の増床は収支の改善からも必要。

答 施設の建設は民間でおこなう計画があったが辞退があり、昨年7月に会議を立ち上げた。増床で年間3,000万円の収支改善があるが、土地が狭い等困難、さらなる検討が必要。

